

## 安曇野市自転車ネットワーク計画

「自転車ネットワーク計画」とは、自転車が連続的に通行可能なネットワーク路線を選定し、その路線の整備優先性や整備形態等を示す計画をいいます。自転車活用推進計画策定にあたり、自転車ネットワーク計画を策定し、次の路線を選定します。



▲安曇野市スポーツ推進課のページへ



安曇野市自転車ネットワーク計画 選定路線

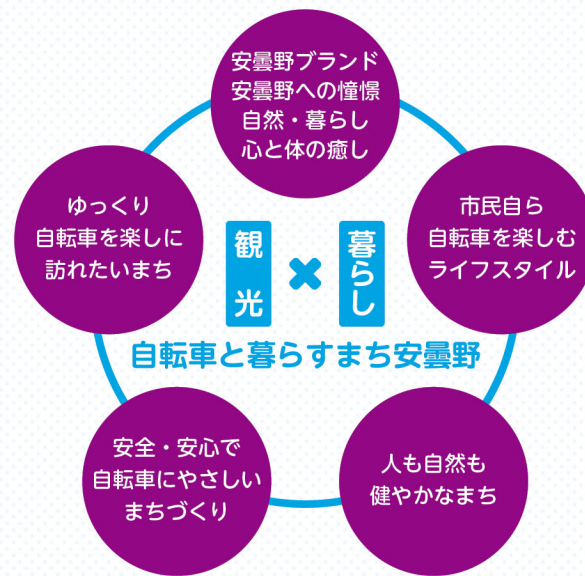
## 安曇野サイクルブランド

「安曇野サイクルブランド」は、安曇野市の魅力と自転車と結び付けた様々な事業を実施することにより、他の観光地にはない価値を生み出すための取り組みです。

- 安曇野を訪れる人には「自転車を利用して楽しみたい!」、サイクリストには「安曇野を走りたい!」と思っただけのものを指します。
- 市民が誰かから「安曇野の魅力は?」と聞かれたときに、すぐに「自転車!」と答えていただけるようなまちづくりを目指します。

「安曇野サイクルブランド」は、次のような考え方を手掛かりにしながら進めていきます。

- (1) 市民が自転車を楽しむことができる事業を行い、自転車を媒介に観光客と市民の触れ合う機会を提供すること(市民自ら自転車を楽しむライフスタイル)。  
例：サイクルロゲイニングなど。
- (2) 観光業に関する市民のみならず、観光業に携わっていない市民も巻き込みながら、安曇野市全体でまちづくりを進めていくこと。
- (3) 安曇野市の自然・文化・食など、または「心と体の癒し」といった既にある資源(これまで培ってきた観光地としてのブランド力)を活用したコンテンツを開発すること。  
例：サイクルロゲイニング(市内の様々な店舗や観光施設、フォトスポットなどを自転車でまわって得点を獲得していくゲーム)、フォトラリーなど。
- (4) 観光客やサイクリストの利便性に資する仕組み作りを行うこと(自転車にやさしいまちづくり、自転車を楽しみに訪れたいまち)。  
例：シェアサイクルの設置、サイクルオアシスなど。



# 安曇野市自転車活用推進計画

令和4年3月・安曇野市

## SDGsとは。

「持続可能な開発目標 (SDGs)」は、平成 28 年 (2016 年) から令和 12 年 (2030 年) までの国際目標であり、国内でも積極的に取り組んでいます。政府が定めた「持続可能な目標 (SDGs) 実施指針 (平成 28 年)」では、地方自治体においても積極的な取り組みを推進するため、各種計画の策定や改定に当たり SDGs の要素を最大限反映することが推奨されています。

SDGs では、17 の目標が定められており自転車の活用を推進することで、「③すべての人に健康と福祉を」「④質の高い教育をみんなに」「⑧働きがいも経済成長も」「⑩住み続けられるまちづくりを」「⑱気候変動に具体的な対策を」などに貢献することが期待されます。



お問い合わせ

安曇野市役所 商工観光スポーツ部  
スポーツ推進課 スポーツ推進担当

〒399-8281 長野県安曇野市豊科6000番地  
TEL.0263-71-2000(代) TEL.0263-71-2467(直通)  
FAX.0263-72-1340





## 1 計画に関する目的

安曇野市の特色を活かした自転車の活用を通し、市民の健康づくり及び青少年の健全育成、観光による地域の活性化、環境負荷の低減を図るとともに、自転車が安全に走行できる環境を整備することにより、自転車の活用が拡大することを目的としています。



## 2 政策課題と解決の方向性

### 1 市民の健康

#### 課題

- 少子高齢化に伴い、健康寿命を延ばすことが求められています。
- 安曇野市の場合、メタボリックシンドロームに該当する方の割合の高さや、生活習慣病が介護認定の原因疾病になっていることなどが課題となっています。

○安曇野市の生活習慣病等の状況

	長野県	安曇野市
メタボリックシンドロームの比率	16.0%	18.2%

(出典：健康推進課作成)

#### 解決の方向性

健康寿命延伸などには運動が効果的と考えられます。

適度な運動強度のサイクリングやサイクルスポーツが市民の日常的スポーツとして普及するようになれば、健康づくり、体力づくり、青少年の健全育成の分野で積極的な効果が見込めます。

### 2 教育・健全育成

#### 課題

- 安曇野市の子どもは、「走る力」と「運動時間の短さ」が課題となっています。

(出典：令和2年度の全国体力・運動能力、運動習慣等調査)

#### 解決の方向性

「走る運動に焦点」を当て楽しみながら運動を続けられる方法や運動・遊びを、長時間の運動ができる「サイクリング」や「サイクルスポーツ」の推進は、子どもに関する課題の解決に最適だと考えられます。

### 3 観光

#### 課題

- 日帰りの観光客が宿泊する観光客の約3割となっており、宿泊する観光客の増加、観光客の滞在時間を延ばすことが課題となっています。

○利用者数・観光消費額一覧表

年	日帰り・宿泊別		
	合計	日帰り	宿泊
平成26年	48,166	36,028	12,138
平成27年	49,188	38,452	10,736
平成28年	50,288	39,198	11,090
平成29年	50,883	38,137	12,746
平成30年	51,991	38,955	13,036
平成元年	49,933	37,959	11,974

(出典：安曇野市ホームページ「利用者数・観光消費額一覧表抜粋」)

#### 解決の方向性

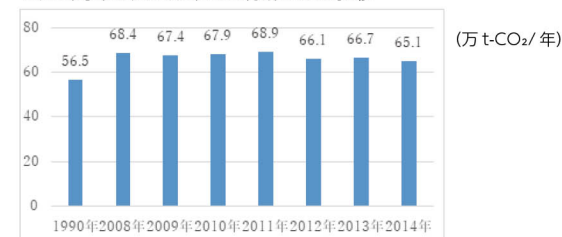
ポタリングを中心とした自転車による観光を勧めることにより、滞在時間が延びる可能性があります。

### 4 環境負荷

#### 課題

- 安曇野市は、温室効果ガスの排出量を2022年度末までに「51.3万トン-CO<sub>2</sub>/年」に削減することを目標としています。

○安曇野市の温室効果ガス総排出量の推移



#### 解決の方向性

10分3kmの移動を自家用車から自転車に代えていければ、温室効果ガス削減の新たなアプローチとなり得ます。

これら課題の解決に向け、自転車を取り入れることは有用であり、「そこに自転車があるまち 安曇野」を進めていく。

## 3 施策

そこに自転車があるまち 安曇野

### 政策目標

- 目標1** 自転車を活用したスポーツによる健康づくりの推進と青少年の健全育成
- 施策1 サイクルスポーツの推進
  - 施策2 自転車を活用した健康づくりの推進
  - 施策3 スポーツ活動を通じた青少年の健全育成
- 目標2** 自転車を活用した周遊・滞在型観光振興による地域の活性化
- 施策1 安曇野サイクルブランドの構築 [4頁へ](#)
  - 施策2 広域連携・官民連携の推進
  - 施策3 受入れ環境の整備・充実
- 目標3** 自転車利用促進による環境負荷の低減
- 施策1 自転車通勤等の促進
  - 施策2 自転車リサイクルの推進



### 基盤づくり

- 目標4** 自転車通行空間の整備と利用環境の向上
- 施策1 安曇野市自転車ネットワーク計画の推進 [4頁へ](#)
  - 施策2 安曇野市内のサイクリングコースの設定
  - 施策3 自転車通行空間の環境整備
  - 施策4 駐輪場やサイクルスタンド等の設置
- 目標5** 自転車事故のない安全・安心な社会の実現
- 施策1 効果的な交通安全教育の推進



### 自転車安全利用五則 (平成19年7月10日交通対策本部決定より)

1. 自転車は、車道が原則、歩道は例外
2. 車道は左側を通行
3. 歩道は歩行者優先で、車道寄りを徐行
4. 安全ルールを守る
  - 飲酒運転・二人乗り・並進の禁止
  - 夜間はライトを点灯
  - 交差点での信号遵守と一時停止・安全確認
5. 子どもはヘルメットを着用